



真庭バイオマス発電所を見学

1月29日、市民にバイオマスの利活用について改めて知ってもらうと、真庭市と真庭観光連盟が企画したバイオマスツアー「大人の社会科見学in真庭」が初めて開催されました。会社員や自営業者ら21〜84歳の33人が参加し、生ごみやし尿などから液肥を作るプラントや真庭バイオマス集積基地第2工場、真庭バイオマス発電所などを見学。参加者は全国から注目される真庭の先進的なバイオマス利用の取り組みを間近かで見ることで、より一層理解を深めていました。

大人の社会科見学in真庭

「百聞は一見にしかず」真庭のバイオマス



市の取り組みについて説明を受ける参加者



生ごみ液肥化メタン発酵プラントを見学

1月26日、真庭市地域見守りネットワーク事業「まにわのわ」の説明会が開かれました。この事業は金融機関や宅配業者など、地域の人々と接する機会の多い事業者に登録していたいただき、日常業務の中で市民の異変に気付いた際に連絡していただくものです。この日は登録した事業者や関心を持つ人たちが参加。地域のさりげない見守りで、誰もが安心して暮らせるまちづくりに向けた取り組みについて説明を聞きました。

「まにわのわ」説明会 地域で見守る目を



登録いただいた事業者へ登録証を交付



認知症を寸劇で分かりやすく伝えるキャラバン・メイト

1月28日、上水田小学校(児童数84人)で認知症サポーター養成講座が開かれ、児童とその保護者が参加しました。北房地域で活動している認知症キャラバン・メイトが講師を務め、寸劇やスライドで認知症の人への接し方などを説明しました。講座を受講した児童たちはサポーターの証のオレンジリングを手にし、認知症への理解を深めていました。この日の講座で真庭市の認知症サポーターが1万人を突破しました。

上水田小学校認知症サポーター養成講座 サポーター数1万人達成



市政に関する動きの一部を紹介します

1/30 産業団地に新しい企業進出

真庭産業団地への進出を決めた貨物自動車運送業の株式会社中野産業（兵庫県丹波市）と岡山県、真庭市の立地協定式が市役所本庁舎で行われました。同社は今年7月に操業を開始し、5人を新規で採用する予定です。

真庭産業団地立地協

株式会社中野産業・岡山県・真庭市



2/14 司法書士会との協定締結

真庭市が岡山県司法書士会に要請し、災害発生時に相続や補償などの法律に関する相談会を無料で開いていただく協定を市役所本庁舎で締結しました。岡山県司法書士会が自治体と協定を締結するのは今回が初めてです。

時における司法書士法律相談に関する協定調印式



市長室から
こんにちは!

「生かされている」ことへの感謝

公職の身なので、恥ずかしながらも自損事故で負傷したことを公表しましたが、この間行事に参加できず、市民の皆様にご迷惑、ご心配をお掛けしたことを心からお詫びいたします。

左の肘と肩の粉碎骨折ということで、左腕の機能回復には長期のリハビリを要しますが、幸い頭と右腕、両足は負傷しておらず、現在職務を遂行しております。

東京の地下鉄構内の階段から転倒という全くの不祥事ですが、もし踊り場に頭から落ち強打していたらと思うと、寒気がします。運よく、生かされていると自覚し感謝の念で一杯です。この感謝の心と、痛みと不自由さを経験したことから学んだことを宝として懐きながら、年度末の公務に邁進して参ります。



落合方面隊員と真庭消防署員の合同放水訓練

天津神社合同消防訓練 協力して訓練を実施

1月29日、天津神社（真庭市高屋）で「第63回文化財防火デー」に伴う消防訓練が行われ、真庭消防署、真庭市消防団落合方面隊、神社関係者が参加しました。訓練は、高屋地内の山林から火災が発生し、延焼拡大して天津神社にも延焼する恐れがあると想定。119番通報訓練や消火器による初期消火訓練、重要物品の搬送訓練、消防署と消防団による中継・放水訓練などが行われ、防火意識の高揚が図られました。



災害の状況を説明する福知山市の伊東副市長

みんなで防災 in 真庭 災害の教訓を伝える

2月5日、勝山文化センターで「みんなで防災 in 真庭」が開かれ、自主防災組織関係者や自治会、福祉関係者、消防団など、約200人が参加しました。講師に平成25年と26年の2年連続で大水害を経験された京都府福知山市の伊東尚規副市長を迎え、「市民とともにつくる災害に強いまちづくりの推進について」と題して講演いただきました。伊東副市長は常に災害を風化させないことが大切などと話されました。